

都市戦略本部 平成26年度 局運営方針

1. 主な現状と課題

行政運営を取り巻く環境が年々厳しさを増す中で、市民一人ひとりがしあわせを実感できる都市、市民・企業から選ばれる都市の実現に向けて、「しあわせ倍増プラン2013」、「さいたま市成長戦略」の策定、取りまとめを行いました。そして、高品質市役所への転換により、これらの重点プロジェクトを下支えするため「行財政改革推進プラン2013」を策定しました。平成26年度は、これらの主要施策を的確かつ重点的に推進することが求められています。

さらに、市の魅力のより一層の向上や市内外への発信のため、市として一体的なシティセールスを積極的に推進する必要があります。

(1) 「しあわせ倍増プラン2013」の進行管理及び評価

平成25年12月に策定した「しあわせ倍増プラン2013」は、10分野111の事業で構成され、平成25年度から平成28年度までを計画期間としており、今後当プランに掲げた各事業の全ての達成を目指しています。

平成26年度は、各事業の進捗状況や成果を客観的に検証するため、市民や有識者等により構成される市民評価委員会を設置し、平成27年度には、当該委員会による外部評価を行い、評価委員による市民評価報告会の開催を予定しています。

	分野	項目数	事業数
1	子どもと親のしあわせ倍増	5	12
2	若者のしあわせ倍増	4	4
3	高齢者のしあわせ倍増	5	8
4	障害者のしあわせ倍増	5	11
5	日本一の教育都市	5	8
6	健康・医療・福祉	11	22
7	文化・芸術	4	5
8	安全・安心	5	13
9	自然・環境	6	16
10	まちづくり・コミュニティ	10	12
	合 計	60	111

(2) 「さいたま市成長戦略」の推進

今後本格化する人口減少社会にあっても、さいたま市が将来にわたり持続的な成長と発展を続け、市民や企業から選ばれる都市を目指すため、中長期の視点から成長戦略として7つのプロジェクトに取り組んでいく必要があります。



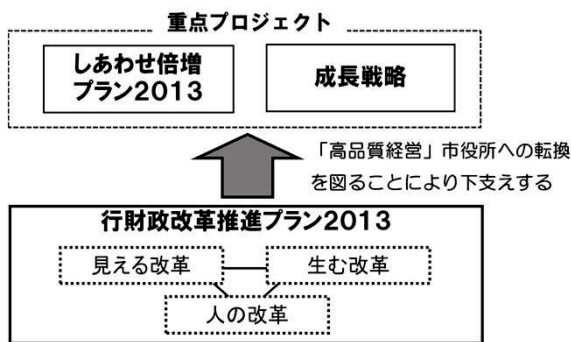
(3) 行財政改革推進プラン2013の推進

今後も切れ目なく不断の改革に取り組み、本市の重点プロジェクトである、しあわせ実感都市を実現するための「しあわせ倍増プラン2013」、選ばれる都市を目指すための「さいたま市成長戦略」の取組を着実に実施していくことが求められます。

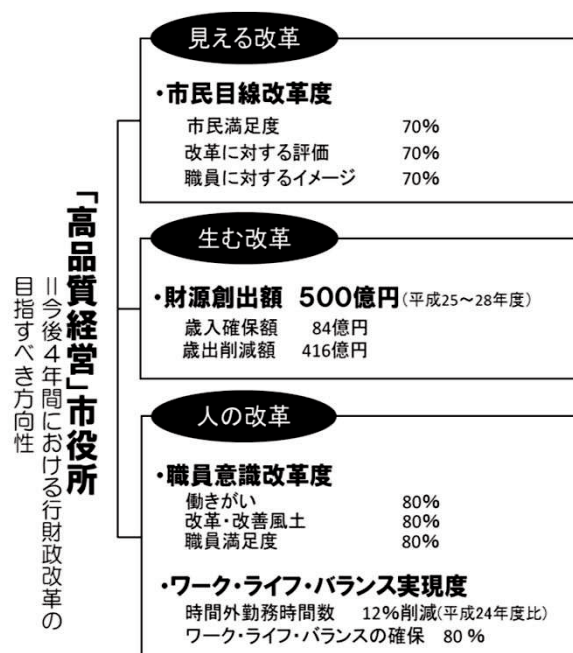
また、これらの取組の推進にあたっては、市民意見を広く聴取し、常に市民目線に立ち、市民満足度を高めていくことが大切です。

そのためには、重点プロジェクトの推進を下支えするプランとして、平成25年度に策定した「さいたま市行財政改革推進プラン2013」により、見える改革、生む改革、人の改革の3つの柱を基本目標に、積極的に行財政改革に取り組むことで、財源を創出するとともに、挑戦する意欲に溢れた職員の創出、効率的・効果的な組織体制の構築を推進していく必要があります。

【プランの位置付け】



【3つの柱における目標指標】



【計画期間】

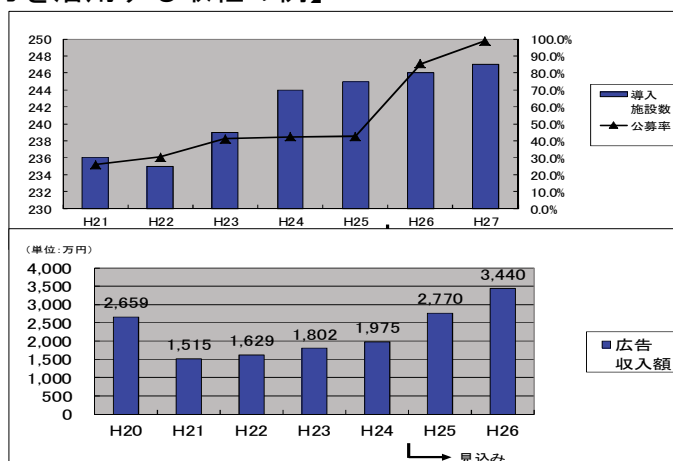


(4) 公民連携の更なる推進

今後、市税収入の大幅な増加が見込めない一方で、多様化・複雑化する行政課題に対応するためには、民間の活力やノウハウ、アイデアを活用し、市民サービスの質の向上やコスト削減等を図る公民連携に取り組む必要があります。

【本市における民間力を活用する取組の例】

- 指定管理者制度を活用する施設数の推移
- 市有財産や市の発行物への広告掲載による収入の推移



(5) 公共施設マネジメントの推進

本市の公共施設の多くは、昭和45年から56年ごろに整備されており、建物の老朽化が進行しています。今後は大規模改修や建替え等による大幅な経費の増加が予想されるため、「さいたま市公共施設マネジメント計画・第1次アクションプラン」（平成26～32年度）に基づき、効果的かつ効率的な施設の管理運営を推進していくことが求められます。

また、公共施設マネジメントの取組については、市民の理解と協力が不可欠であるため、市民と情報・問題意識を共有し、合意形成を図りながら推進する必要があります。

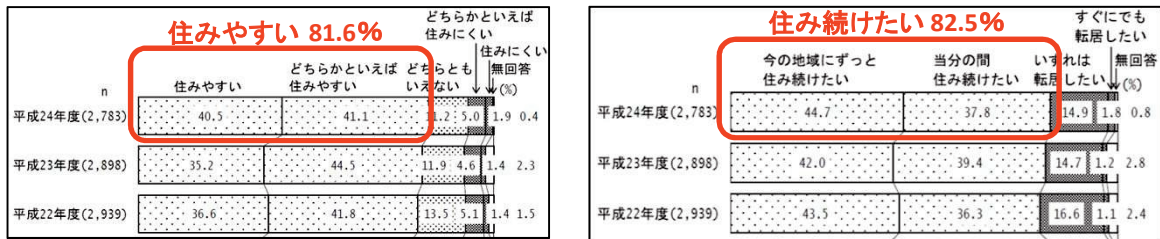
【市民と合意形成を図りながら検討する複合化のイメージ】



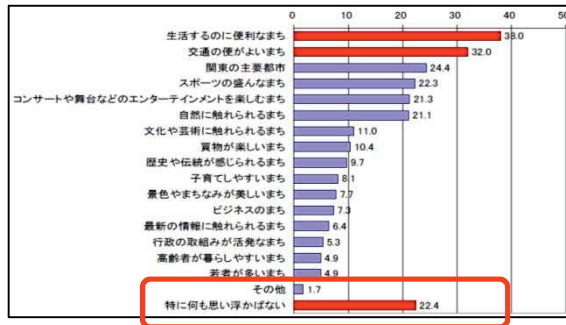
(6) 本市の魅力と都市イメージの推進

本市では、平成24年度に策定した「さいたま市PRマスタープラン第2次アクションプラン」の中で、「シティセールスの考え方」を定義し、今後その具現化に向け関連事業を促進していく必要があります。市民意識調査によると本市の印象について、「住みやすい」が81.6%、「住み続けたい」が82.5%という結果であり、この傾向は年々増加傾向にあります。しかしながら、市外、特に首都圏における各種調査では、さいたま市のイメージが特に思い浮かばないなど、本市の魅力がうまく伝わっていない状況もあります。

* 平成24年度 意識調査報告書



* 平成24年6月実施「首都圏・北関東都市イメージに関する調査」 (Web調査)



このことから、今後は、本市の魅力を上向きさせ、市内外にそれらの魅力を情報発信することにより、市内においては、さらなる魅力の創造・再発見、愛着心等の醸成を図るとともに、市外においては、認知度を高め、訪問人口を増加させ、もって定住人口や企業誘致の増加を促進させることが、喫緊の課題となっています。

2. 基本方針・区分別主要事業

「しあわせ倍増プラン2013」について、進捗管理によって着実な推進を図るとともに、中長期的な視点から「さいたま市成長戦略」に掲げる7つのプロジェクトを展開します。

“しあわせ倍増”を支える、「高品質経営」市役所への転換を目指し、平成25年度に策定した「行財政改革推進プラン2013」に基づき、全職員が一丸となり、行財政改革の取組を推進します。また、市の魅力PR等によるシティセールスを部局横断的に進めます。

(1) 「しあわせ倍増プラン2013」の進行管理を行い、着実な推進を図ります。

*（）内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	26年度	25年度	説明
1	新倍	「しあわせ倍増プラン2013」の進行管理及び評価 〔都市経営戦略部〕	419 (419)	0 (0)	「しあわせ倍増プラン2013」の進行管理、評価の実施

(2) 「さいたま市成長戦略」を推進します。

*（）内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	26年度	25年度	説明
2	新成	「さいたま市成長戦略」の推進 〔都市経営戦略部〕	1,260 (1,260)	0 (0)	7つのプロジェクトチームと連携し、各施策を推進

(3) “しあわせ倍増”を支える、「高品質経営」市役所への転換を目指し、「行財政改革推進プラン2013」の取組を推進します。

*（）内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	26年度	25年度	説明
3		行財政改革公開審議の実施 〔行財政改革推進部〕	1,184 (1,184)	1,648 (1,648)	事業の見直し・改善にかかる庁内の議論を公開審議方式で実施
4	行	一職員一改善提案制度の推進 〔行財政改革推進部〕	167 (167)	332 (332)	職員が業務改善を身近に感じ、改善・改革が日常的に継続されるような組織風土を確立
5	行	他自治体や企業等とのカイゼン交流の推進 〔行財政改革推進部〕	202 (202)	150 (150)	民間企業等の様々な実践事例に触れ、職員の成長意欲の向上と職場の組織風土を活性化
6	行	仕事満足度向上のための職員意識調査の実施 〔行財政改革推進部〕	500 (500)	420 (420)	職員の働きがいや職場環境等に関するアンケートを実施し、調査結果を職場環境の改善に反映することで、職員の仕事満足度を向上

〔区分〕 新…新規事業 拡…拡大事業 倍…しあわせ倍増プラン2013事業 成…成長戦略事業

〔区分〕 行…行財政改革推進プラン2013事業

(4) 民間活力を活用する公民連携（PPP）及び外郭団体の経営改善を推進します。

*（）内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	26年度	25年度	説明
7		指定管理者制度の推進 〔行財政改革推進部〕	4,137 (4,137)	4,240 (4,240)	指定管理者制度全般における制度検証や「指定管理者審査選定委員会」の開催とともに、管理運営水準の向上等を図るため第三者評価や財務診断業務を実施
8	行	外郭団体の健全運営の推進 〔行財政改革推進部〕	184 (184)	823 (823)	外郭団体経営改革推進委員会の助言等を受けながら、外郭団体の効率的・効果的な事業運営など、更なる健全運営に向けた取組を推進
9	行	提案型公共サービス公民連携制度の推進 〔行財政改革推進部〕	1,564 (1,564)	1,564 (1,564)	市が現在実施している事業を対象に、委託・民営化等の提案を募集する「提案型公共サービス公民連携制度」を実施
10	行	公民連携コミュニティの推進 〔行財政改革推進部〕	136 (136)	251 (251)	公民連携における知識・情報の提供等のため設置した「さいたま公民連携コミュニティ」において、セミナー等を開催

(5) 全市的・総合的な視点から公共施設の効果的かつ効率的な管理運営を推進します。

*（）内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	26年度	25年度	説明
11	行	「公共施設マネジメント計画」の推進 〔行財政改革推進部〕	6,641 (6,641)	7,888 (7,888)	「公共施設マネジメント計画・第1次アクションプラン」に基づき公共施設の効果的かつ効率的な管理運営を推進
12	新 行	(仮称)公共施設マネジメントシステムの構築 〔行財政改革推進部〕	48,000 (48,000)	0 (0)	「公共施設マネジメント計画・第1次アクションプラン」の進行管理を行い、予防保全の推進を図るため、(仮称)公共施設マネジメントシステムを構築
13	行	公共施設マネジメント・ワークショップの実施 〔行財政改革推進部〕	1,729 (1,729)	389 (389)	市民参加によるワークショップの手法を通じて、公共施設の複合化、効率的な管理運営や効果的な合意形成の図り方を検討

(6) 市内の新たな魅力の発掘や再発見に努め、市外に向け都市イメージの向上を図ります。

*（）内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	26年度	25年度	説明
14	新	地域資源発見発信事業 〔シティセールス部〕	4,000 (4,000)	0 (0)	新たな魅力の発掘や再発見に向け、市内企業、大学等とともにさいたま市の魅力を発信

〔区分〕 新…新規事業 拡…拡大事業 倍…しあわせ倍増プラン2013事業 成…成長戦略事業
〔区分〕 行…行財政改革推進プラン2013事業

*()内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	26年度	25年度	説明
15	成	都市イメージ推進事業 〔シティセールス部、 東京事務所〕	6,952 (6,952)	7,480 (7,480)	都市イメージの向上や誘客促進を図るため、 東京都心部において都市PRイベントを開催

3. 平成26年度予算案における見直し事業一覧

(単位:千円)

課名	見直し事業名	見直しの理由及び内容 (代替事業等があれば記載)	コスト 削減額
行財政改革 推進部	行財政改革有識者会 議の廃止	任期満了(H25.12)に伴い、行財政改革有識者会議の あり方を見直し、同会議を廃止する	△ 512
行財政改革 推進部	行財政改革公開審議 の見直し	行財政改革公開審議の審議日程及び業務委託の仕様 を見直し、縮小する	△ 464
行財政改革 推進部	外郭団体事業計画等 報告会の廃止	平成23年度から実施していた「外郭団体事業計画等 報告会」につき、全外郭団体の報告が終了したた め、現方式での報告会を廃止する	△ 87
行財政改革 推進部	公共施設マネジメン ト会議の廃止	平成22年度から開催していた「公共施設マネジメン ト会議」につき、公共施設マネジメント計画・第1 次アクションプランが完成することから、同会議を 廃止する	△ 242
行財政改革 推進部	公共施設市民パート ナー制度の見直し	公共施設市民パートナー制度の運営を、外部委託か ら所管局による実施とすることで、委託料を廃止す る	△ 611
行財政改革 推進部	公共施設マネジメン ト業務委託の見直し	公共施設マネジメント支援業務委託の事業内容を精 査し、委託料を縮小する	△ 1,300
シティセー ルス部	庶務事業一般旅費の 縮小	他市への視察及び研修の頻度の見直しを行い予算額 を縮小する	△ 20
シティセー ルス部	都市PRイベントに おける広告掲載委託 費等の廃止	都市PRイベント「のびのびシティさいたま市フェア」 の事前周知の方法について、インターネット等 を活用することにより遜色のない効果が得られるた め、広告掲載などを廃止する	△ 671
シティセー ルス部	ヌウ・サポーター ズ・クラブ周知管理 事業における郵送料 等の縮小	ヌウ・サポーターズ・クラブへの入会状況の精査、 電子メールの活用により郵送頻度の見直しを行い予 算額を縮小する	△ 1,080

〔区分〕 新…新規事業 拡…拡大事業 倍…しあわせ倍増プラン2013事業 成…成長戦略事業
 〔区分〕 行…行財政改革推進プラン2013事業